

日本脳神経血管内治療学会会員各位

2015年12月25日
日本脳神経血管内治療学会

日本脳神経血管内治療学会実績調査について

拝啓 先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素、日本脳神経血管内治療学会の諸活動に何かとご協力賜りありがとうございます。

我が国の専門医制度の整備が進んでいることは皆さんもご存じの通りです。2015年4月の医師国家試験合格者が初期臨床研修を終える2017年4月から、いよいよ日本専門医機構が管理運営する専門医制度がまず基本領域で始まります。

日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医は、現在広告が可能な専門医として認定されていますが、日本専門医機構では「未承認診療領域の専門医」に位置づけられており、今後脳血管内治療専門医制度の位置づけがどうなっていくかが確定していません。新たな仕組みでは、「プロフェッショナルオートノミー（専門家による自律性）を基盤とすべき」と言われていますが「専門医のキャリアや認定基準、更新基準などの情報を国民に分かりやすく示す仕組み、中立的な第三者機関の評価・認定」などが求められています。日本脳神経血管内治療学会は、的確な情報の収集と関連諸学会（特に、日本脳神経外科学会）との密接な連携をはかり、新しい仕組みの中で必要な専門医制度として位置づけられるように努力し続けています。

今後の制度設計、内外への説得力のある説明のために、現状をできるだけ正確に把握することは必須であり、専門医（指導医）および実施施設の調査は必須です。例えば、実施数の少ない施設や専門医が常勤していない施設でも専攻医が勉強して脳血管内治療専門医を目指しているとしても、その報告がなければ脳血管内治療専門医制度に反映することはできません。日本脳神経血管内治療学会は、研修に必要な経験をできるだけ実態に即した制度によって実現できるよう脳血管内治療専門医制度を構築したいと考えています、本調査の意義をご理解いただき、すべての脳血管内治療専門医が現状をご報告いただきますようお願い申し上げます。なお、本調査の内容は、集計結果のみが公表され個別のデータは学会事務局が個人情報保護指針（2005.6.1、学会ホームページに掲載）に則り厳重に管理します、また専門医更新などに影響することはありません。なお、専門医更新、指導医更新、研修施設認定のために必要な報告を本調査で代用することが可能ですので、本調査に参加された対象者は更新および申請に際しては報告不要です。

敬具

調査方法

Survey Monkey を利用しています。アドレスは以下の通りです。

専門医報告

<https://jp.surveymonkey.com/r/WKJSWQY>

施設報告

<https://jp.surveymonkey.com/r/W8MRLKZ>

本調査に対するご質問、ご意見は、学会事務局（jsnet-admin@umin.net）までお願いいたします。

会員報告

<https://jp.surveymonkey.com/r/WKJSWQY> から報告

日本脳神経血管内治療学会の資格	指導医/専門医、専門医、非専門医
専門医番号	専門医番号または氏名のいずれも可
所属施設[註1]	2015/1/1 現在の所属施設、在籍開始日を記載 例：神戸市立医療センター中央市民病院、2001/4/1 註：2015年中に異動した場合は、施設名と異動日を記載
自施設以外の血管内治療実施施設名	所属施設以外で脳血管内治療を行った場合に記入してください。 専門医が常勤していない施設も含まれます。 全国の脳血管内治療の実績、その実態を基に制度設計を行いますので、是非ご協力下さい。
指導している専攻医数	専攻医とは脳血管内治療専門医を目指している医師のことです 所属施設、非所属施設別に人数を回答してください
血管内治療実施件数	2015年1月1日から12月31日に経験した脳血管内治療の件数を、所属施設、非所属施設（合計）に分けて回答してください
実施件数詳細[註2]	所属施設以外で脳血管内治療を行っている場合は、治療別の合計を回答して下さい 所属施設だけの場合は回答不要です

施設報告

<https://jp.surveymonkey.com/r/W8MRLKZ> から報告

施設名	記述
都道府県	選択
脳血管内治療にスクラブインする医師の基本診療科	複数選択可
所属脳血管内治療専門医[註1]	専門医番号または氏名のいずれも可
所属以外の脳血管内治療専門医[註1]	所属以外の脳血管内治療専門医がスクラブインした時に記入
専攻医氏名、基本領域	氏名（基本領域） 例：血管太郎（脳神経外科）、脊髄花子（内科）など
実施件数詳細[註2]	治療別の合計を回答して下さい

専門医更新、指導医更新、研修施設申請における専門医年次報告(205)、指導医年次報告(305)、施設年次報告(204, 304, 404)は本報告を優先していただくことをお願いします。本報告を完了すれば、様式204, 205, 304, 305, 404は報告不要です。

註1 所属施設

以下の脳血管内治療専門医制度での定義に基づいて下さい
書類上の常勤施設と実質的活動施設*が違うときは、申告により実質的活動施設を所属施設として指定できる
実質的活動施設とは、概ね1週間に4日(32時間)以上勤務(滞在)する施設を言う。報酬の有無を問わない
所属施設として登録できるのは、1医師あたり1施設のみ(原則として常勤施設)である

註2 実施件数詳細の説明

破裂脳動脈瘤塞栓術	治療時期、瘤内・母血管は問いません 同じセッションでも別の脳動脈瘤を塞栓した場合は複数件です
未破裂脳動脈瘤塞栓術	症候・無症候、瘤内・母血管は問いません 同じセッションでも別の脳動脈瘤を塞栓した場合は複数件です
脳動静脈奇形塞栓術	複数のセッションで治療した場合はそれぞれカウントしますが、同じ日に複数の血管を治療しても1件です
脊髄血管奇形塞栓術	脊髄硬膜動静脈瘻を含みます
硬膜動静脈瘻塞栓術	脊髄硬膜動静脈瘻を除きます 複数回の治療はそれぞれカウントします
直接型頸動脈海綿静脈洞瘻塞栓術	外傷、脳動脈瘤、その他の原因を問いません 経動脈・経静脈を問いません
頭蓋内腫瘍塞栓術	
頭頸部病変塞栓術	
その他塞栓術	上記に分類できない塞栓術
頸動脈ステント留置術	頸動脈ステントを使用したもの 頭蓋底部内頸動脈は頭蓋内動脈に分類
頭蓋外血管形成術/ステント留置術	頸動脈ステント留置術以外
頭蓋内血管形成術/ステント留置術	頭蓋底部内頸動脈、硬膜内動脈 椎骨動脈は硬膜貫通部より遠位を頭蓋内に分類
脳動脈再開通療法	方法は問いません、複数の機器や方法を行っても1セッションを1件とカウント 亜急性期や慢性期の完全閉塞病変は含みません
脳血管攣縮治療	複数のセッションで治療した場合はそれぞれカウントしますが、同じ日に複数の血管を治療しても1件です
その他血管内治療	上記に分類できない血管内治療 例：超選択的化学療法 Balloon Occlusion Test、Provocative Test、Venous Sampling だけを行った場合は治療とはしない

分類、件数の数え方に関しては上記および専門医制度に準じます。
本調査は専門医制度の制度設計や見直し時の基礎資料として活用するものです。
分類やカウントの判断は報告者にお任せします。